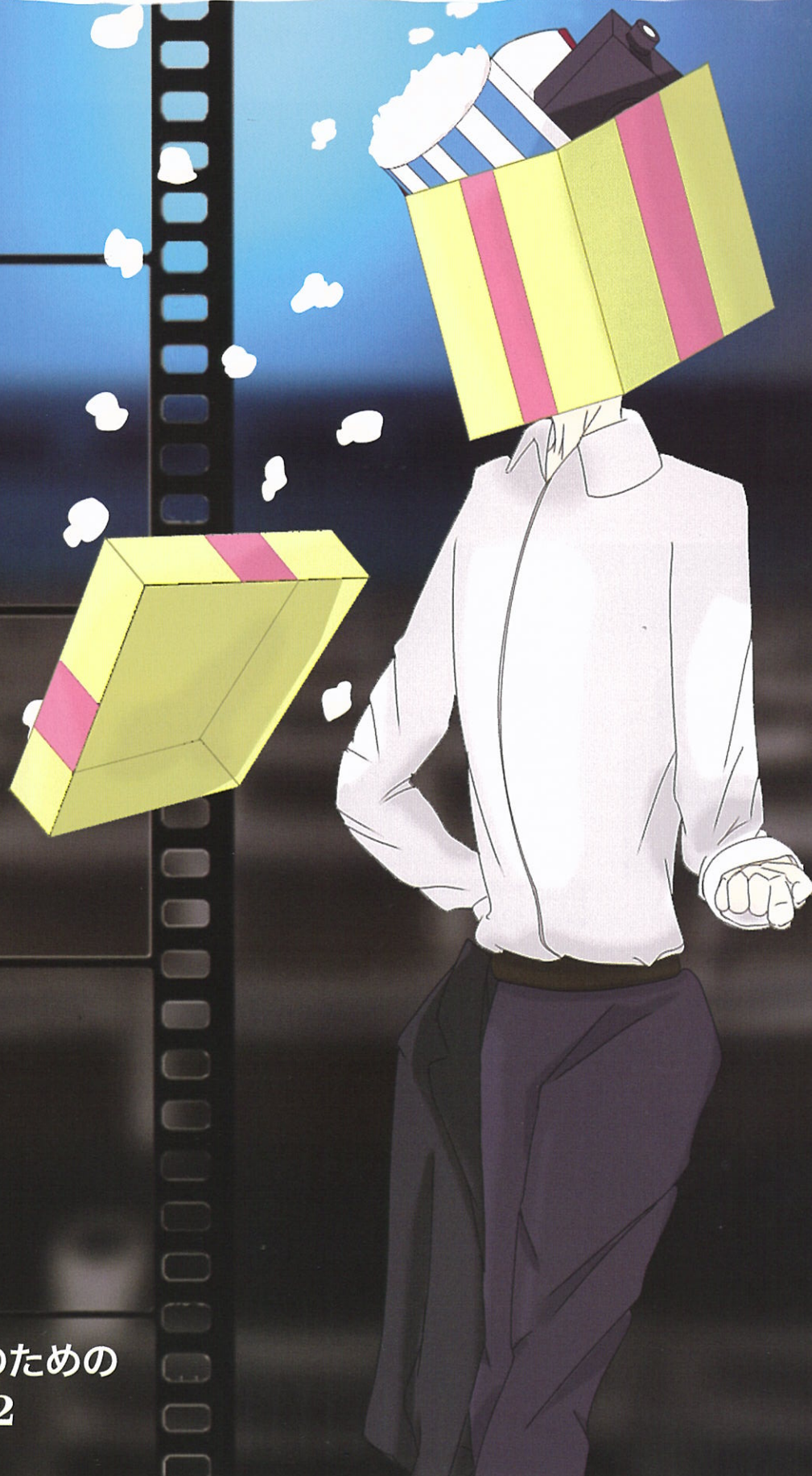


MIYATEEN VOL.12

-WELCOME TO OUR THEATER-



宇都宮の高校生のための
読書情報誌 Vol.12

【短 編】



「傘をもたない蟻たちは」

加藤シゲアキ／著 KADOKAWA

「生」と「性」を浮き彫りにする全6編の物語。現実世界とフィクションがおりまざった物語。

感想 私は「イガヌの雨」という物語がとても好きで、フィクションながらも自分の生活にリンクさせてくれる話です。

【実写化】



「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」

岩崎夏海／著 ダイヤモンド社
高校野球の女子マネージャーが、弱小野球部を立て直すために奮闘する物語。病気で入院している仲間とともにチームをマネジメントしていくが、その成果は？

感想 ドラッカーのマネジメントという難しい本が分かりやすく紹介されています。最初はバラバラだったチームの心がマネジメントによってだんだん一つになっていくところに魅力を感じました。

【文 学】



「人間失格」

太宰治／著
©2016朝霧カフカ・春河35／KADOKAWA／文豪ストレイドックス製作委員会 KADOKAWA

主人公は自分のことを「人間失格」と評する。著者である太宰治の人生とリンクするこの本で、彼は一体何を伝えたかったのか。

感想 太宰は「人間失格」だけは自分のために書いたと語っており、太宰自身の人生最後の作品でもあります。著者の人生とも重ね合わせて読むことができる素晴らしい作品です。

【雑 学】



「カラスの教科書」

松原始／著 講談社
ゴミを漁り、不吉を連想させ、カーカーとうるさがられるカラス。だが、その生態を細かく観察すると、驚くことばかり。日々カラスを追う、カラス好きの動物行動学者がユーモアを交え謎めいた存在に迫る。

感想 街で飛んでいるカラスは全部同じに見えるが、彼らの生態を知ると驚きの連続である。走る車にくるみの殻を割らせたりマヨラーであったり、読むだけでいつの間にかカラスが可愛く見えてくる。

TICKET

チケット 販売所

読書は好き？

No

Yes

集中力は
ある？

青春
したい？

恋愛
したい？

勉強は
好き？

文学は
好き？

怖い話は
好き？

Yes

No

【恋 愛】

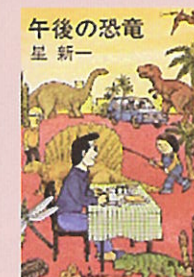


「のののはな通信」

三浦しをん／著 KADOKAWA
お嬢様学校に通う「のの」と「はな」。クールで頭脳明晰な「のの」と明るく元気な「はな」はかけがえのない存在となる。やがて二人は恋人となるが、ある事件によって二人は絶縁する。成長し、お互い連絡を取り始め、お互いの暮らしを共有し合う。二人はどんな人生を歩むのか。

感想 世界観がとてもすてきな本だと思いました。大人っぽい話ですが、手紙のやり取り形式の文章なので読みやすいです。人生について様々なことを考えさせられました。

【ファンタジー】



「午後の恐竜」

星新一／著 新潮社
朝、目を覚ますと、恐竜のホログラムのようなものが存在していた。それには触れることもできず人間に危害が及ぶこともないが、時間が経つにつれ時代が変化しているのに気づく。この現象は何の警鐘を鳴らしているのか。

感想 どの作品も読後に教訓だったりを与えてくれる星新一さんの作品は、いつ読んでも飽きることがなく、本作品もハットさせられるような展開に魅了された。

【コメディ】



「三匹のおっさん」

有川浩／著 文藝春秋
還暦ぐらいいでジジイの箱に蹴り込まれてたまるかと、かつての悪ガキ3人組が自警団を結成。町の平和を守るため、三匹のおっさんが立ち上がる！現代社会の街に潜む小さな悪を、地域限定・正義の味方が成敗。その活躍はやがて周囲の人々にも影響を与え始め…。

感想 ハチャメチャだけど痛快でとても面白いです。私たちの身近にある社会問題などが取り上げられているので、そういった問題について改めて考える良い機会にもなりました。

【ホラー】



「Another エピソードS」

綾辻行人／著 KADOKAWA
異脳の美少女・見崎鳴は語り始める。1988年夏休み、かつて夜見山北中学の三年三組で〈現象〉を経験した青年に会うため、〈湖畔の屋敷〉を訪れた時のことを。

感想 この本はAnotherシリーズの続編となる本です。私はアニメでこの作品に出会ったのですが、かなりのホラー要素が強く、とても読みごたえがあって面白いです。

シアター1
THEATER 1

～日常系～

「蜜蜂と遠雷」

恩田陸／著 幻冬舎



日本で開催される芳ヶ江国際ピアノコンクールには各国から若き天才たちが集う。かつての天才少女、栄伝亜夜20歳。完璧な演奏技術と音楽性をもつ優勝候補、マサル19歳。妻子持ちのサラリーマンで最年長出場者、高島明石28歳。養蜂家の父を持ち移動生活を送る少年、風間塵16歳。熱く美しい戦いが繰り広げられる。



この本は音楽の表現がとても豊かで、本当にコンクール会場で演奏を聴いているような臨場感があります。一気に読み進められること間違いなしです！その後の物語の短編集『祝祭と予感』もお勧めです。

「フリーター、家を買う」 有川浩／著 幻冬舎



大学を卒業し就職したが、その会社を3か月で辞めてしまった主人公、武誠治。だらだらとフリーター生活が続ける中で母親がうつ病になってしまい、今までの母親の苦悩や、自分のだらしなさに気づかされる。誠治は家族のために一念発起し、就職活動に奔走する。



有川さんの本にしては重いストーリーですが、ノンストップで読み進めることができ、努力やまじめさが結晶となって輝くような展開にのみこまれました。これぞ「新しい一日」

「本屋さんのダイアナ」

柚木麻子／著 新潮社



奇妙な名前に苦しみ、クラブ勤めの母と2人で暮らすダイアナと、裕福でうるおった家庭に育つ彩子。2人の共通点は本が大好きなこと。励まし合い、ぶつかり合いながら成長していく。



ダイアナのお父さんの正体を知ってとてもびっくりしました。正反対の境遇で生きる2人だからこそ、お互いを大切にしたい、理想とすることができたのだと思います。



「悩み部の結成と、その結末。」

麻希一樹／著 学研教育出版



正式名称「悩み解決部同好会」。高校を舞台に個性的なメンバーたちが事件と悩みの解決に大活躍！感動と笑い、皮肉と教訓、そして意外な結末。何巻から読んでも、どの話から読んでも楽しめるシリーズ。



クライアントの悩みや事件も、悩み部のその解決法も奇想天外でとてもおもしろく、一話完結なのでさくっと読み進めることができます。出てくるキャラクターが全員個性的で本当におもしろいんです！！

とわ
「永遠をさがしに」

原田マハ／著 河出書房新社



5年前に母が家を出てから、世界的指揮者の父と2人で暮らしてきた和音。そこに父のボストンへの赴任が決まり、突然、和音の「新しいお母さん」を名乗る女性、真弓が現れる。和音は日本に残り、母親として型破りな真弓との新しい生活が始まった。そして和音の16歳の誕生日、真弓と実の母の大きな秘密が明かされる…。



この本には、家族愛・友情・青春・音楽・そして恋と色々な物が凝縮されているので、自分も主人公と共に「リア充」な毎日を送っている気がしました。明るく前向きな気持ちになりたい人に特におすすめの1冊です。

「桜風堂ものがたり」

村山早紀／著 PHP研究所



風早の街に古くからある書店で働く月原。ある日万引きの少年を追いかけたことがきっかけで、彼は書店員を辞めざるを得なくなってしまう。そんな月原の元に一通のメールが届き…



主人公月原がそれまで積み重ねてきた実績と人徳が巡り巡って彼自身を助けてくれる、優しさに溢れた心温まる物語。ぜひ手に取って読んで欲しい1冊です。

シアター2
THEATER 2

～ミステリー～

「15歳のテロリスト」

松村涼哉／著 KADOKAWA



少年犯罪によって家族を殺害された主人公の篤人。加害者家族で多感な時期を苦しめられたアズサ。2人が出会い事実に向き合っていく…。



少年法によって守られる少年犯罪。犯罪をおこした人よりもまわりの人が苦しむ深い闇。読みながら辛くなるけれど、考えさせられる作品です。

「氷菓」

米澤穂信／著 KADOKAWA

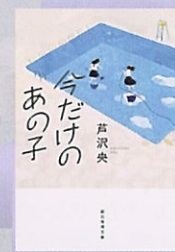


主人公の折木奉太郎は省エネ主義ですが、なりゆきで古典部に入部!! 日常に潜む不思議な謎を次々と解き明かしていくミステリー小説。



いつのまにかかけられた教室のカギ、読まずに返される図書室の本など、謎解きがとてもおもしろく、氷菓というタイトルにこめられた思いがわかったときはとてもスッキリします。

「今だけのあの子」 芦沢央／著 東京創元社



「結婚おめでとう」メッセージカードを書く手が震える。高校時代の親友の結婚式に、仲良し6人組のうち私だけが招待されていない。どうして私だけ。言い出せないまま呼ばれてもいない結婚式に乗り込む。果たして、新婦の真意は…。「女の友情」がテーマの珠玉のアンソロジー。



「女の友情」という、いかにもドロドロして重そうな言葉に裏切られること間違いなし。友達に「今だけ」ではない。「今しかない」友情を鮮やかに感じられる5つの物語。

「フーガはユーガ」

伊坂幸太郎／著 実業之日本社



「僕たちは双子で、僕たちは不運で、だけど僕たちは、手強い。」双子の風我と優我は決して幸せではないが、強い絆で結ばれている。彼らの特殊能力を武器に2人はどう事件に立ち向かっていくのか。ちょっぴり不思議でなんだか切ないミステリー小説。



主人公たちやその周りで起こる事件は胸が痛くなるものばかり。だが、強い絆で結ばれた彼らが残酷な運命を乗り越えていくところはとてもかっこよく、勇気づけてくれた。切なくとも前向きな気持ちになれる作品。

「吉祥寺の朝日奈くん」

中田永一／著 祥伝社



「交換日記ははじめました!」「ラクガキをめぐる冒険」「三角形はこわさないでおく」「うるさいおなか」「吉祥寺の朝日奈くん」の5編を収録した青春小説。



静かな授業中、空腹でおなかが鳴りそうなおなかへ。「うるさいおなか」は必読! 鳴りすぎる私のおなかにはまるで楽器のよう。日々「ぐーびたっ」で耐えていたのに、それを買い占められ…。ああ、おなかが鳴ってしまう!

COMING SOON [予告]

「生のみ生のまま 上・下」



綿矢りさ／著 集英社

青い日差しは肌を灼き、君の瞳も染め上げて、夜も昼にも滑らかな光沢を放つ。静かに呼吸するその肌は、息をのむほど美しく、私は触れることすらできなくて、自らの指をもてあます。



熱烈な恋愛小説。互いに求める気持ちは恋以外の何物でもない。読んでいてこっぴどく赤面させられる。ただただ純粋で、綺麗な結晶に見とれている気分。

「ロマンシエ」



原田マハ／著 小学館

子どもの頃から絵を描くことが大好きな乙女男子 美智之輔は、ひょんなきっかけで憧れの地パリへの留学キップを手に入れた！そこで出会ったのは大好きな小説シリーズ作家・羽生光晴と、学生時代からの片想いの相手・高瀬くん。大好きな人と大好きな地でアートに触れ、恋を追いかける！



LGBTの子を主人公にしている物語ですが、決して差別をなくそうと訴えている物語でなく、ただ1人の「女の子」の恋を描いています。好きな人を目の前にしてあたふたしている姿がほほえましいです。

「100日間、あふれるほどの「好き」を 教えてくれたきみへ」



永良サチ／著 スターツ出版

余命3か月と宣告された海月とクラスの人気者の悠真の恋の物語。水族館で海月（くらげ）を見たり、クリスマスと一緒に祝ったりと、海月は最後まで精一杯生きた。海月が死んでも続く2人の恋とは？



実の母親に見捨てられた海月が苦しい思いをして、いとこの家で暮らすのは読んでいて辛かったです。同級生に海月との交際をどんなにバカにされても、海月をずっと愛していた悠真の強いハートも格好良いです。

「パラレルワールド・ラブストーリー」



東野圭吾／著 講談社

親友の恋人が、かつて自分が一目惚れした女性だった。敦賀崇史はそのことで嫉妬に苦しむ。だが、ある朝、目を覚ますと、彼女は自分の恋人として隣にいた。どちらが現実なのか、混乱する崇史。存在する二つの「世界」と消えない二つの「記憶」の中で恋と友情は翻弄されていく。



崇史が全てを知ったとき、出口のないトンネルにいるかのような感覚。私はたとえ自分のためであれ、他人のためであれ、記憶を消すことは苦しいが、彼らのした選択は正しかったのかもしれないと感じさせられた。

「夜が明けたら、いちばんに 君に会いに行く」



汐見夏衛／著 スターツ出版

孤独と窮屈さでどうしようもなくなっていた自分を救ってくれたのは、大嫌いな君だった。君の隣で過ごす時間は、私の死にかけた心をゆっくりと溶かしていく…。主人公や少年の抱える秘密とタイトルの意味を知ったとき、温かな涙があふれる。



「夜明けに会いたくなる人は、心で愛している永遠の恋人よ」という、作中で主人公が出会う言葉が印象的でした。また、主人公が新たな一歩を踏み出すシーンが感動的で、ラストがとても素敵です。

What movie do you wanna see?

Let me see...



POPCORN

CASHIER

[会計]

「文房具の解剖図鑑」



ヨシムラマリ／著 トヨオカアキヒコ／著 エクスナレッジ

私たちの身近にある文房具の仕組み、形、歴史など、イラストとともにわかりやすく解説。



イラストがあるのでわかりやすいです。私たちが普段使う文房具の仕組みや正しい立ち方を知ることができるので、おもしろいと思いました。

「老人と海」



アーネスト・ヘミングウェイ／著 高見浩／訳 新潮社

老漁師サンチャゴは84日間の不漁に見舞われていたが、今日こそはと意気込み沖の方へと舟を漕ぎだした。やがて舟よりも大きい巨大カジキがかり、死闘を繰り広げる。サンチャゴに課された海の試練とは何なのか…。



作中でライオンの夢を見るシーンが描かれているのですが、そこに男の威厳だったり覚悟のようなものが垣間見えて、自分も奮い立たせられるような感覚になった。

「神隠しの森 とある男子高校生、夏の記憶」



梨沙／著 集英社

荒霊村に棲む祟り神・赤姫。祭事の夜、禁を破って外出した子供は彼女に「引かれ」生きて帰れない…。村の高校生・モトキは法介・将親・薫・建太とともに夏休みを過ごしていたが…



タイトルを見て買った本です。ほのぼのとした生活から一転、急にホラーになるのでとてもドキドキする本です。最後の落ちがとてもびっくりします!!

「嫌われる勇気」



岸見一郎／著 古賀史健／著 ダイヤモンド社

心理学の三大巨頭と称される、アルフレッド・アドラーの思想を青年と哲人の対話形式でまとめた本です。「どうすれば人は幸せに生きることができるか」という問いに、きわめてシンプルかつ具体的な「答え」を提示します。



心理学系の本は難しそうと思って今まで読んでいたことがありませんでしたが、この本はとても読みやすかったです。「こういう考え方もあるんだ」と気づくことができたし、考えさせられる本です。

「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」



ブレイディみかこ／著 新潮社

日本人の母親とアイルランド人の父親を持つイギリスに住んでいる息子の日常を書いたノンフィクションです。中学生の息子の周辺で起こる差別や偏見などの問題を中学生ながら解決していきます。



日本にいとあまり深く考えることがない差別や偏見がイギリスではあり、とても考えさせられました。主人公の息子のように広い視野や考え方を持つことが大切なのだなと思いました。

「思い出のマーニー 上・下」



ジョン・ロビンソン／著 岩波書店

みんなは「内側」の人間だけれど、自分は「外側」の人間だからと心を閉ざすアンナは、プレストン夫妻のはからいで自然豊かなノーフォークでひと夏を過ごす。そこで不思議な少女マーニーと出会い、毎日二人は、砂丘のかげ、無人の風車小屋などで遊ぶ。ところがある日、マーニーが突然姿を消し、彼女を探すアンナはつぎつぎに不思議なことに会う。



養父母に育てられたアンナの葛藤や孤独などがよく伝わってきました。スタジオジブリで映画化された原作本ですが、映画を観た方も観ていない方も、みんなに読んでもらいたいそんな一冊です。

映写室からひとこと [編集委員紹介]

ゆーたん

【編集長】
文星芸術大学附属高等学校
昨年に引き続き参加
させていただきました。



ひまわり

【書記】
宇都宮東高等学校
昨年に引き続き書記を
務めさせていただきました。
楽しかったです。



扇風機

【ページリーダー】
文星芸術大学附属高等学校
知らない本が色々
あったので読んでみ
ようと思った。



胡蝶蘭

【イラスト】
宇都宮東高等学校
みんなで考えながら
制作するのが楽し
かったです。



風

【イラスト】
石橋高等学校
あらすじをわかり
やすくまとめるの
が大変でした。



ことり

【編集長】
作新学院高等学校
MIYATEEN2年目、編集
長を務めさせていただ
けて嬉しかったです。



恵麻

【書記】
宇都宮短期大学附属高等学校
二年目なので、昨年よ
りも余裕をもって楽し
く活動できました。



わらび餅

【ページリーダー】
宇都宮東高等学校
楽しく参加できまし
た。



深見 【イラスト】
宇都宮高等学校

初めての参加でし
がとても良い経験と
なりました。ありが
うございました。



ふかせ

【編集長】
文星芸術大学附属高等学校
今まで読んでことがな
かった本に出会えて良
い経験になりました。



しゅん

【書記】
宇都宮中央女子高等学校
編集委員2回目です。
協力し楽しく活動でき
て良かったです。



塩きやらめる

【ページリーダー】
宇都宮海星女子学院高等学校
あらすじをまとめる
のが大変でしたが
楽しかったです。



Ant

【イラスト】
宇都宮中央女子高等学校
初めての参加です。あら
すじを書くのが大変でし
た。



- ・ペンネーム
- ・役割[担当]
- ・学校
- ・感想

編集委員募集

あなたも本の紹介をしてみませんか？
次号Vol.13でも高校生編集委員を募集します。
本好きの高校生の皆さん、ぜひご参加ください！
詳しくは中央図書館まで。

読めば
愉快だ
宇都宮

宇都宮の高校生の
ための読書情報誌

MIYATEEN Vol.12



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

UTSUNOMIYA

発行 令和2年12月 編集 MIYATEEN編集委員
ご意見・お問い合わせ 〒320-0845 宇都宮市明保野町7-57 宇都宮市立中央図書館 TEL028-636-0231